



学校教育目標 「たくましく 心豊かに」

～言語力を向上させ自分のよさや可能性を最大限に伸ばし、
「共生・共育」社会を実現する担い手として自ら考え、判断し、実践できる人を育てる～



【 目指す子ども像 】

- 自ら人とかわかり、思いやりのある子
- 自ら考え、判断し、表現できる子
- 自ら心と体を鍛える子
- 自ら遊び、自ら学習する子
- 人や状況に、しなやかに対応できる子

幼稚部
遊びが広がる
元気な幼稚部

寄宿舍
助け合い、集団生活を
楽しむ寄宿舍

小学部
伝え合い学び合う
心ときめく小学部

中学部
学び合い高めあう
中学部

支援部
つなぐ・つながる
支援部

家庭、地域、生活、
関係機関等の
「モノ・コト・ヒト」

【 目標具現化の柱 】

一人一人が「いきいき」「わくわく」生活し、「しなやか」な心を育む学校

「いきいき」

互いの良さを認め合える、安全で安心な生活のできる学校

- 互いを認め合う人権感覚を高め、豊かな心を育む指導の充実
- 安全・安心な生活のための環境・体制づくり
 - ・自他を大切にする教育活動の充実
 - ・自助のための防災教育、安全教育の実施

「わくわく」

進んで人とかわかり、毎日の授業や生活が充実し、新しい学びのある学校

- 一人一人の言語力の獲得と、協働的な学びの授業や生活づくり
 - ・聴覚障害教育の専門性の向上
 - ・ICT を効果的に活用した授業づくり
 - ・生活の自立に向けた寄宿舍づくり
 - ・読書活動の推進

「しなやか」

関係機関と連携を図りながら、子どもたちの夢の実現をサポートする学校

- 共生・共育の推進と地域におけるセンター的機能の充実
- 社会自立に向けた関係機関との連携強化
 - ・切れ目ない支援の充実と積極的な情報発信
 - ・家庭や関係機関との連携の充実
 - ・自分らしさを知る指導・支援の充実

【 目指す教職員像 】

互いの考えを認め合い、タイムマネジメントできる教職員

